

## 予測結果

工事中の建設機械等の稼働により発生する振動の事業計画地周辺における到達振動レベルの予測結果を図 5-4-7(1)～(3)に示す。

事業計画地敷地境界での到達振動レベルは、A 地区工事では最大で 71 デシベル、B 地区工事では最大で 70 デシベルと予測される。

また、A 地区、B 地区を合わせた全体の工事最盛期においても、到達振動レベルが 65 デシベルを越える範囲は、工事区域近傍の狭い範囲に限られると予測される。

## 評価

### a . 環境保全目標

振動についての環境保全目標は、「環境への影響を最小限にとどめるよう、環境保全について配慮されていること」、「振動規制法、大阪府生活環境の保全等に関する条例に定められた規制基準に適合すること」、「大阪市環境基本計画の目標、方針の達成と維持に支障がないこと」とし、本事業の実施が事業計画地周辺の振動に及ぼす影響について、予測結果を環境保全目標に照らして評価した。

### b . 評価結果

工事中の建設機械等の稼働により発生する振動の事業計画地敷地境界での到達振動レベルは、A 地区では最大で 71 デシベル、B 地区では最大で 70 デシベルと予測された。これは、特定建設作業に係る振動の規制基準値（75 デシベル）を下回っている。また、振動が 65 デシベルを超える範囲は、工事区域周辺の狭い範囲に限られる。

なお、予測上は建設機械が全て同時稼働するという最も影響が大きな場合を想定している。建設工事の実施にあたっては、低振動型の工法の使用に努めるとともに、工事の平準化、同時稼働のできる限りの回避等の適切な施工管理を行い、建設機械等からの振動による周辺環境への影響をできる限り軽減する計画である。

以上のことから、周辺環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮されていること、事業による影響は、振動規制法等に定められた基準に適合することから、環境保全目標を満足するものと評価する。

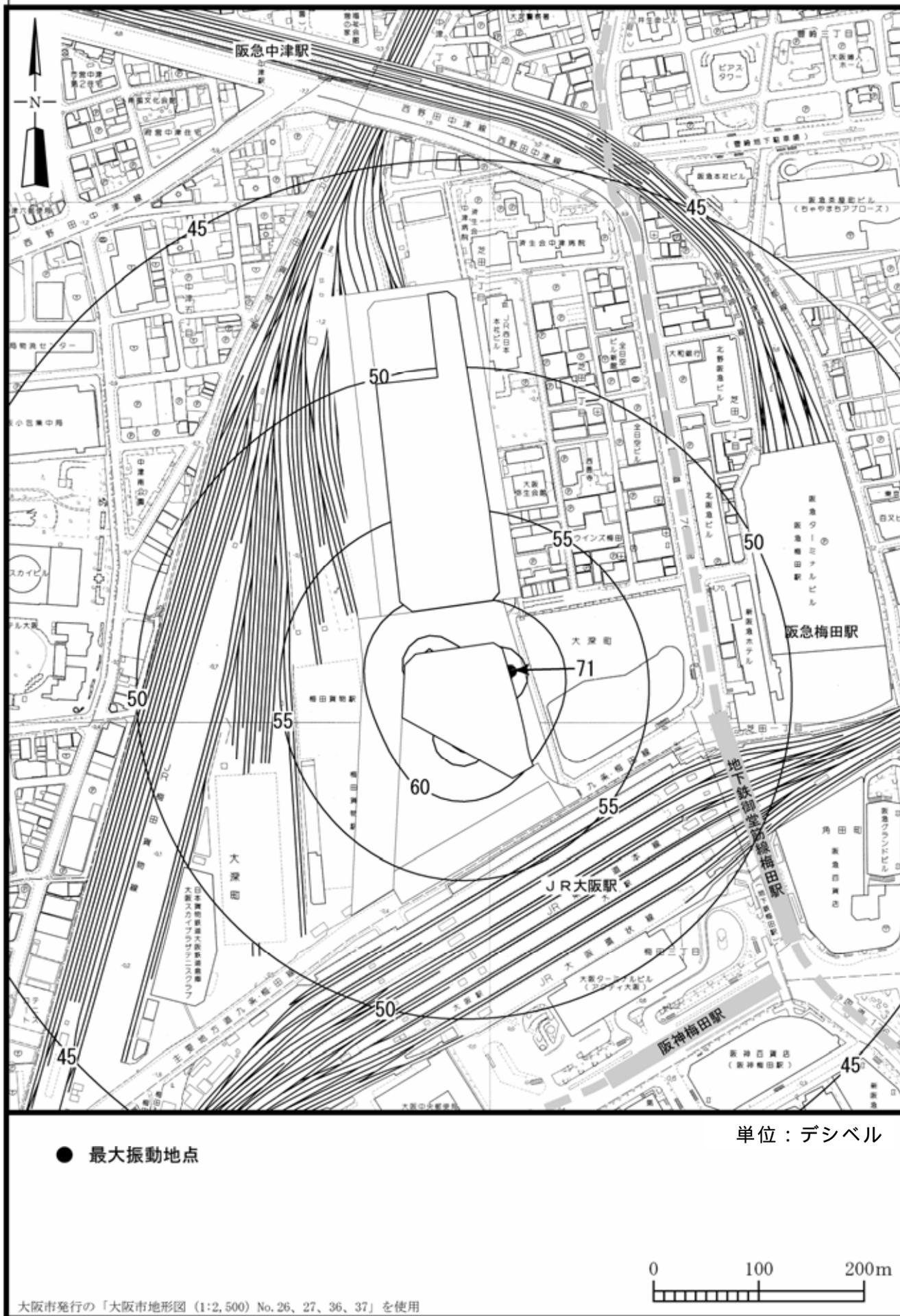


図 5-4-7(1) 建設機械振動予測結果 (A 地区工事最盛期)

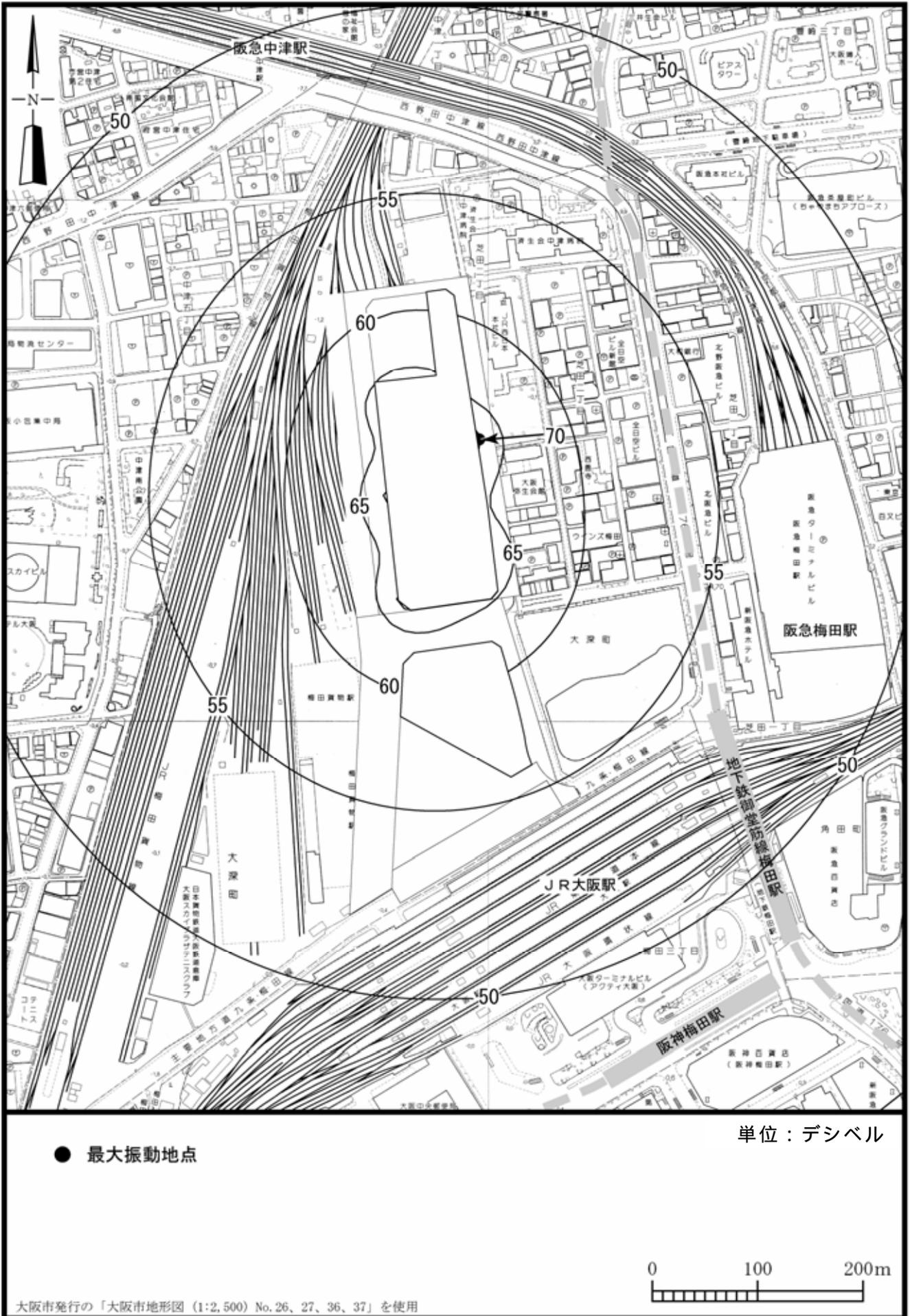


図 5-4-7(2) 建設機械振動予測結果 (B 地区工事最盛期)

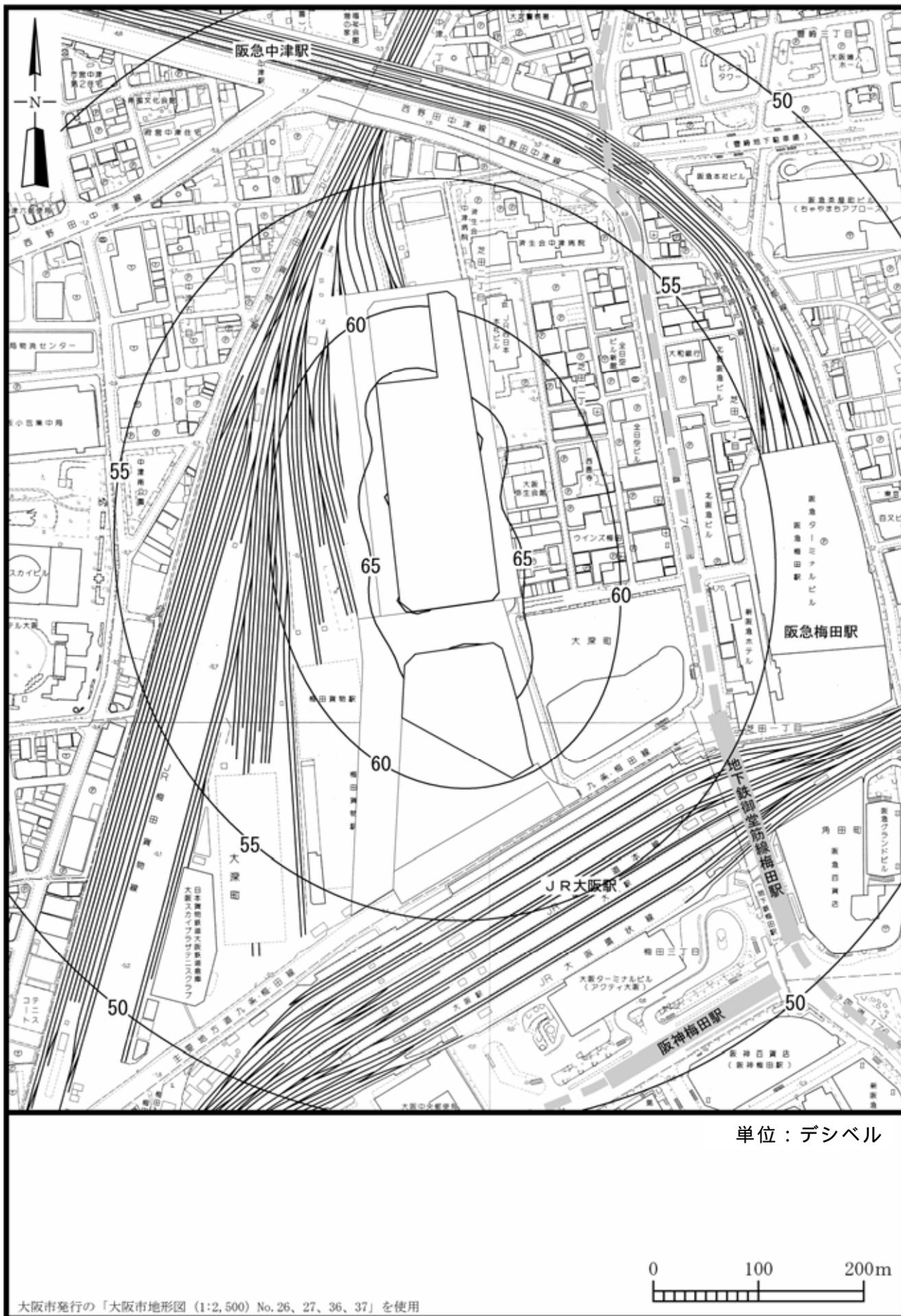


図 5-4-7(3) 建設機械振動予測結果(全体工事最盛期)